

本社移転で人が集い、力が生まれるオフィスへ ～第 38 回日経ニューオフィス賞「推進賞」「クリエイティブ・オフィス賞」受賞～

転職サービス「doda」などを運営するパーソルキャリア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：瀬野尾 裕）は、2024 年 10 月に移転した麻布台本社オフィスが「第 38 回 日経ニューオフィス賞」において「推進賞」と「クリエイティブ・オフィス賞」を受賞いたしました。

「日経ニューオフィス賞」は、日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会が主催し、「ニューオフィス」づくりの普及・促進を図ることを目的に、創意と工夫をこらしたオフィスを表彰する賞です。2025 年 9 月 4 日に開催された授賞式では、全国から選ばれた受賞企業とともに表彰を受けました。



表彰式には、代表取締役社長の瀬野尾と、麻布台本社移転を手掛けた戦略総務部の 3 名が参加
(写真左から、今泉 創、梅村 太嗣、瀬野尾 裕、横山 映子)

受賞コメント／パーソルキャリア株式会社 代表取締役社長 瀬野尾 裕

麻布台本社オフィスは、社員の声と想いを一つひとつ形にしながら完成させた、私たちの“キャリアオーナーシップとパワーを育む場”です。このオフィスで生まれる偶発的な会話やコラボレーションが、新たなサービスやはたらき方を生み出し、私たちが予想していなかったような活用や交流が自然に広がっています。今回の受賞は、社員や関係者、日々このオフィスを訪れる多くの方々の存在があってこそその成果です。これからも、この場所から未来のはたらき方を描き続けます

本社移転と設計の背景

当社が本社を移転したのは 2002 年以來 22 年ぶりです。その間、社員数は約 2,000 人から約 7,000 人へと拡大。成長に伴い、別々の拠点に分かれていた法人・個人の営業部門を、この移転を機に本社に集約し、部門を越えた協議・共創を促進することを目指しました。また、全員出社・画一的な雇用形態が主流だった 2002 年当時と比べ、現在は時短勤務などの多様なはたらき方が広がっています。新オフィスは、このような多様性を受け止めながら、それぞれの力を発揮できる柔軟な設計としています。

オフィス設計の特徴とコンセプト

当社のミッション「人々に『はたらく』を自分のものにする力を」をさらに推進していくために、オフィスでののはたき方や環境はどのようなものであるべきか、社員の要望も取り入れながら検討を重ね、新オフィスのコンセプトを「Give Power - the place to gain, share and enhance OUR power -」と定義しました。オフィスに来ると力が育まれ、互いに作用し合ってさらに大きなパワーを発揮することを目指し、このコンセプトに沿って以下の4つのテーマでレイアウト設計しています。

“外”と接する

カスタマー・クライアント
パートナー・グループ会社



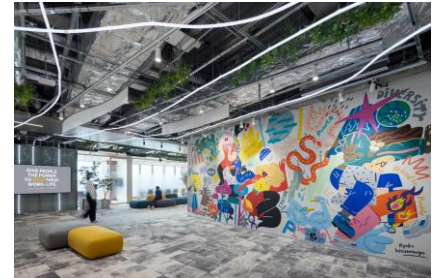
お客さまや社会、世の中に対してアンテナを巡らせ、敏感に情報をキャッチする。リアルな場では、対話や交流を通して、目の前のお客さまを体感する。相手を目の前にすることで「自分ゴト化」への熱量がグッと上昇する。パートナー企業も同志として、よりフラットに、プロジェクトに参画し、協働を通して新たな価値を創出していく。

at our office

- ・お客さまやグループ会社と協働する
- ・様々なイベントを通じてお客さまと出会い交流する
- ・社外パートナーとの協働イベントなどで外部の情報を収集する
- ・社内外のテクノロジーの試用を行い業務やビジネスへの活用を探る



オープンラウンジには AV 機器も完備し、セミナーや交流会などのイベントも開催。壁面アートはヘラルボニー社によるもの。



エントランスには、アーティストと社員達がワークショップを重ね会社のミッションをビジュアル化した作品を展示。

コミュニティを育む

パーソルキャリア内



一人ひとりが「はたらく」を自分のものにする”社会を実現する仲間という意識と組織文化を作る。多様性の中で、互いのキャラクターや役割を理解しあう。同じチームメイトとして、会話は挨拶し、気軽に声をかけ、雑談や近況報告、手助けを進んで行うとともに、仲間から活力を得る。

at our office

- ・様々なタレントと顔を合わせ挨拶を交わし、声をかける
- ・仕事での関わりがなくとも知り合える機会を大切にする
- ・仲間と交わることでミッションやバリューを意識する瞬間が多くある
- ・キャリアオーナーシップの実現について頻繁に対話する



軽食やドリンクを購入できる有人カフェ。ランチはもちろん、部署を超えたコミュニティ活動や社員同士の懇親会も。



仕事後に、景色を楽しみながら社員同士が終業後にお酒を呑み交わしたり団らんできたりするスペース。

越境し、協働する

チーム内
パーソルキャリア内



より良いソリューション提供のために部署や職種を超えたコミュニケーションを行う。シナジーが生まれそうな案件は、プロジェクトや施策を現場から立ち上げ、挑戦と学びの中で新しい流れを作っていく。これまでも挑戦してきたが、さらに強化・促進させていきたい働き方である。

at our office

- ・お客さまの課題に対して組織を超えてオープンに議論を行う
- ・他チームのメンバーに声をかけ、相談や情報収集を行う
- ・プロジェクトチームで集まり、ディスカッションや共同作業を行う
- ・拠点間でのキャッチアップを定期的に行う



部署や職種を超えたコラボレーションができるエリア。席が空いていたら自由に座り会議や交流をすることができる。



コラボレーションエリアは、槽形式や半個室など、オープンで周りの社員が声を掛けやすい家具レイアウト。

スキルを発揮する

個人



パーソルキャリアにおける自分の役割やスキルセットを理解し、自分ができること、やるべきことを行う。得意な分野や伸ばしたいスキルは積極的に学び、メンバーにシェアすることで、自身のポジショニングを作りながら、なりたい自分ややりたい仕事に近づいていく。

at our office

- ・資料作成、開発作業に集中する
- ・オンライン会議や電話対応を行う
- ・チームの同僚や先輩・後輩の働き方に目を向け、学びを得る
- ・チームの同僚に気軽に声をかけ、自身の発見や思いをつきをシェアし、悩み事の相談をする



ワークスペースは、部署ごとのフリーアドレス。個人タスクに集中できるスペースや、オンラインブースもある。



シアタールーム型の会議室は、業務ミーティングだけでなく、社内でも同じ趣味をもつ仲間との活動にも使用できる。

オフィス移転の効果

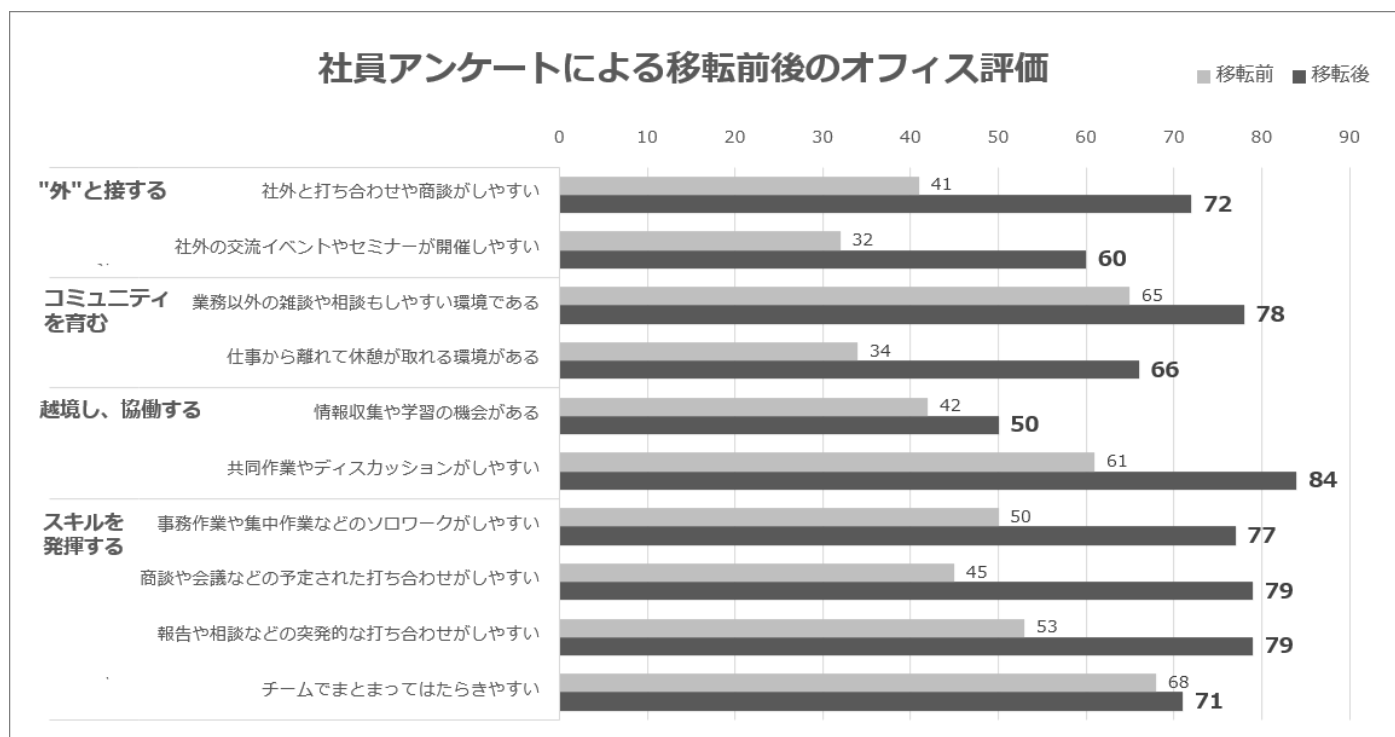
■社員からの声

「業務内容に応じて自由に場所を選べる。ソロワークもしやすく生産性が上がった」
 「部署内外とのちょっとした雑談や相談がしやすくなり、新しいアイデアやコラボレーションが生まれている」
 「麻布台本社で商談をすると、お客さまに喜んでいただける。壁面のアート作品も好評で会話のきっかけになる」
 「イベントや勉強会が増えて、気軽に参加するようになり、社内の知り合いが増えた」

■移転後に実施した社員アンケート

4つのコンセプト全項目で評価が上昇。社内外とのコミュニケーションや協働はもとより、スキル発揮の面でも高い評価が出ています。

※麻布台本社オフィスを本拠地とする従業員を対象に、オフィス移転後の影響を調査



オフィス移転後の活用事例

■副業・フリーランス事業のリアルマッチングイベント

副業・フリーランス人材と企業をマッチングする「HiPro」事業の一環として、東北のスタートアップ企業とをつなぐイベントを開催。オープンラウンジでの企業ピッチと並行し、会議室等を活用した企業と個人との個別面談や、グループディスカッションを実施。(2025年8月、オープンラウンジにて開催)



問い合わせ先

パーソルキャリア株式会社 広報部

koho@persol.co.jp

■ 部署・職種を越えた勉強会・交流会への活用

社内の多くの営業部門を麻布台本社に集約したことにより、個人の転職を支援するキャリアアドバイザー、企業の採用を支援するリクルーティングアドバイザーなどがオフラインで勉強会や交流会を行う機会が増加。さまざまな職種の社員が部署を越えて協業する機会を創出しています。



■ 社外との交流拠点としての活用

女性のウェルビーイングを複数企業の有志で考える異業種コミュニティのイベントや、サントリー主催のプレモルセミナー（簡単に内容）を開催。業務に関わらず、同じ課題や視点をもつ他社との交流も生まれています。



■ パーソルキャリア株式会社について < <https://www.persol-career.co.jp/> >

パーソルキャリア株式会社は、－人々に「はたらく」を自分のものにする力を－をミッションとし、転職サービス「doda」やハイクラス転職サービス「doda X」を通じて人材紹介、求人広告、新卒採用支援などを提供しています。2022年5月にはプロフェッショナル人材の総合活用支援ブランド「HiPro」を立ち上げ、副業・フリーランス領域にも本格参入。グループの総力をあげて、これまで以上に個人の「はたらく」にフォーカスした社会価値の創出に努め、社会課題に正面から向き合い、すべての「はたらく」が笑顔につながる社会の実現を目指します。

当社のミッションについて： https://www.persol-career.co.jp/mission_value/

* パーソルグループの「はたらく」表記について

パーソルグループでは、誰もが自分の“はたらく”を自分で決められる世界の実現を目指しています。人それぞれの多様なはたらき方・生き方を表現したいという想いを込めて、漢字ではなくひらがなの「はたらく」という表現を用いています。